

1 沿革

佐賀県衛生薬業センターは、平成13年、佐賀県衛生研究所と佐賀県薬業指導所が統合し、現在に至っている。

衛生研究所の前身は元警察部衛生課に属し、細菌検査室と衛生試験室に分かれて業務を行っていた。のちに、内務部へ、終戦後は衛生行政の拡充に伴い教育民生部衛生課に移管された。

地方衛生研究所設置要綱(昭和23年4月7日厚生省発予第20号)に基づき、細菌検査・衛生試験を強化するため、検査・試験両室を統合整備して、昭和23年10月22日佐賀県衛生研究所(県庁構内)が発足した。

一方、佐賀県薬業指導所の前身である佐賀県立売薬研究所は昭和7年佐賀市に設立された。

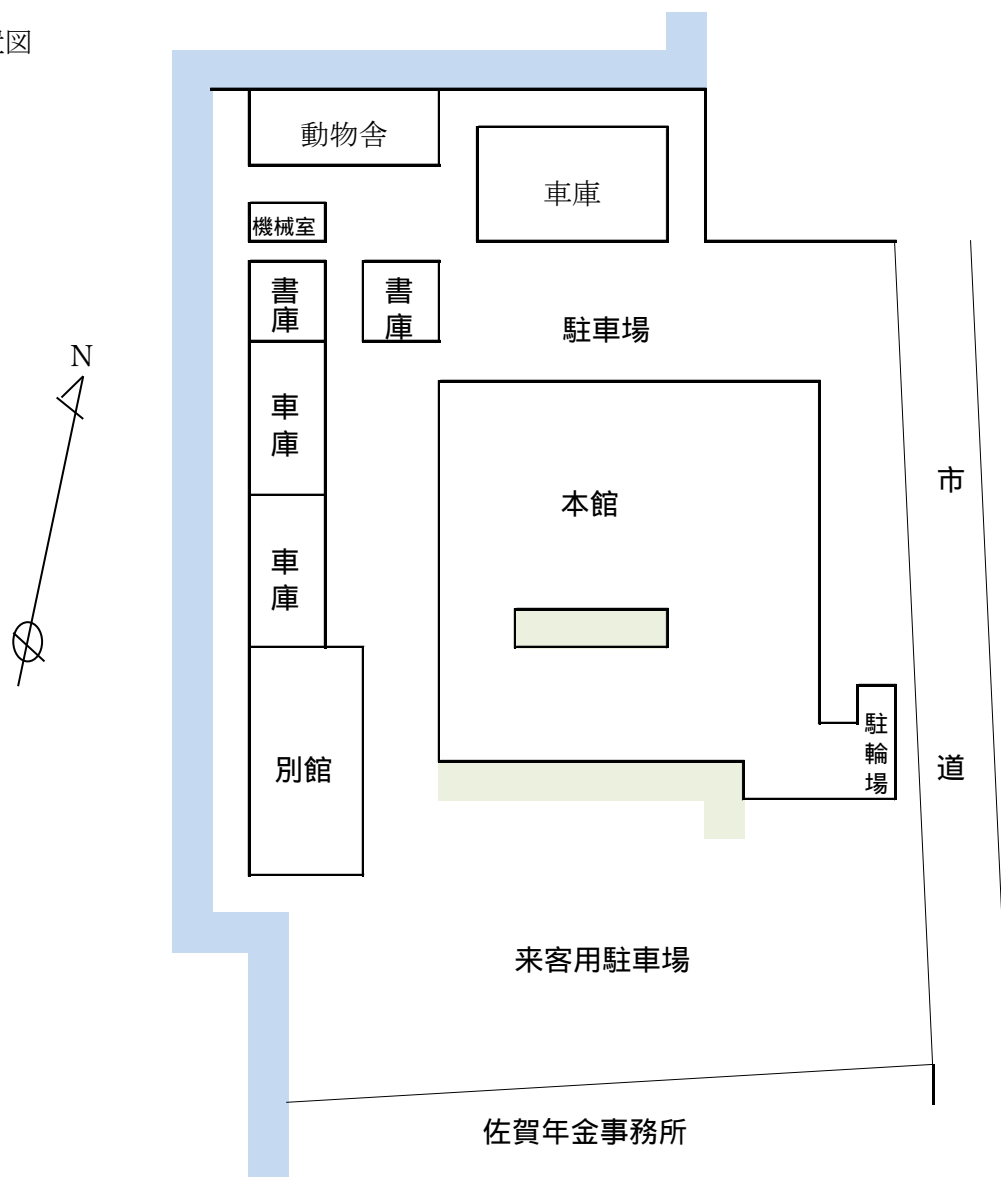
昭和24年4月	総務課、試験検査課の2課制となる
昭和27年	薬業指導所の設置(鳥栖市大正町)
昭和36年3月	試験検査課が細菌検査室と理化学検査室に分かれる
昭和38年10月	総務課、微生物検査課、理化学試験課の3課制となる
昭和40年6月	衛生合同庁舎(佐賀保健所、衛生研究所)の新設に伴い移転(佐賀市水ヶ江一丁目)
昭和42年	薬業指導所の移転(鳥栖市宿町)
昭和45年9月	公害検査課が新設され4課制となる
昭和49年4月	佐賀県公害センター設置に伴い公害検査課は公害センターに移管され3課制となる
昭和58年12月	衛生合同庁舎(佐賀中部保健所、衛生研究所、精神保健福祉センター)の新設に伴い移転(佐賀市八丁畷町)
平成13年7月	薬業指導所を統合し、医薬品課を新設、「佐賀県衛生薬業センター」に名称変更
平成14年4月	総務課が廃止され、微生物課、理化学課、医薬品課の3課制となる
平成22年4月	佐賀中部、唐津、杵藤保健福祉事務所の検査部門を統合し、ウイルス課、細菌課、食品化学課、環境衛生課、医薬品課の5課制となる
平成26年4月	食品化学課と環境衛生課が統合されて、食品担当と環境衛生担当の2係からなる理化学課となり、ウイルス課、細菌課、医薬品課と合わせて4課制となる

(歴代所長)

山口 伊典	(昭和 24 年4月～昭和 27 年6月)
西村 信一	(昭和 24 年4月～昭和 27 年6月)
清水 正一	(昭和 28 年2月～昭和 55 年3月)
佐藤 一江	(昭和 55 年4月～昭和 60 年3月)
佐柳 進	(昭和 60 年4月～昭和 60 年 12 月)
本村 資光	(昭和 60 年 12 月～平成元年4月)
土田 龍馬	(平成 元年4月～平成 6 年3月)
石塚 正敏	(平成 6 年4月～平成 8 年7月)
金井 雅利	(平成 8 年8月～平成 11 年7月)
山崎 勝彦	(平成 11 年8月～平成 14 年3月)
山口 博之	(平成 14 年4月～平成 16 年3月)
下平 裕之	(平成 16 年4月～平成 17 年3月)
久保 康典	(平成 17 年4月～平成 18 年3月)
藤原 義行	(平成 18 年4月～平成 20 年3月)
武田 裕二	(平成 20 年4月～平成 22 年3月)
靄田 清典	(平成 22 年4月～平成 24 年3月)
古川 義朗	(平成 24 年4月～平成 25 年3月)
平野 圭子	(平成 25 年4月～平成 26 年3月)
中尾 剛	(平成 26 年4月～平成 28 年3月)
北島 淳二	(平成 28 年4月～平成 30 年3月)
石橋 博	(平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)
東島 誠路	(平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月)

2 施設

(1) 庁舎配置図



(2) 建物面積

①衛生薬業センター 1,802.42 m²

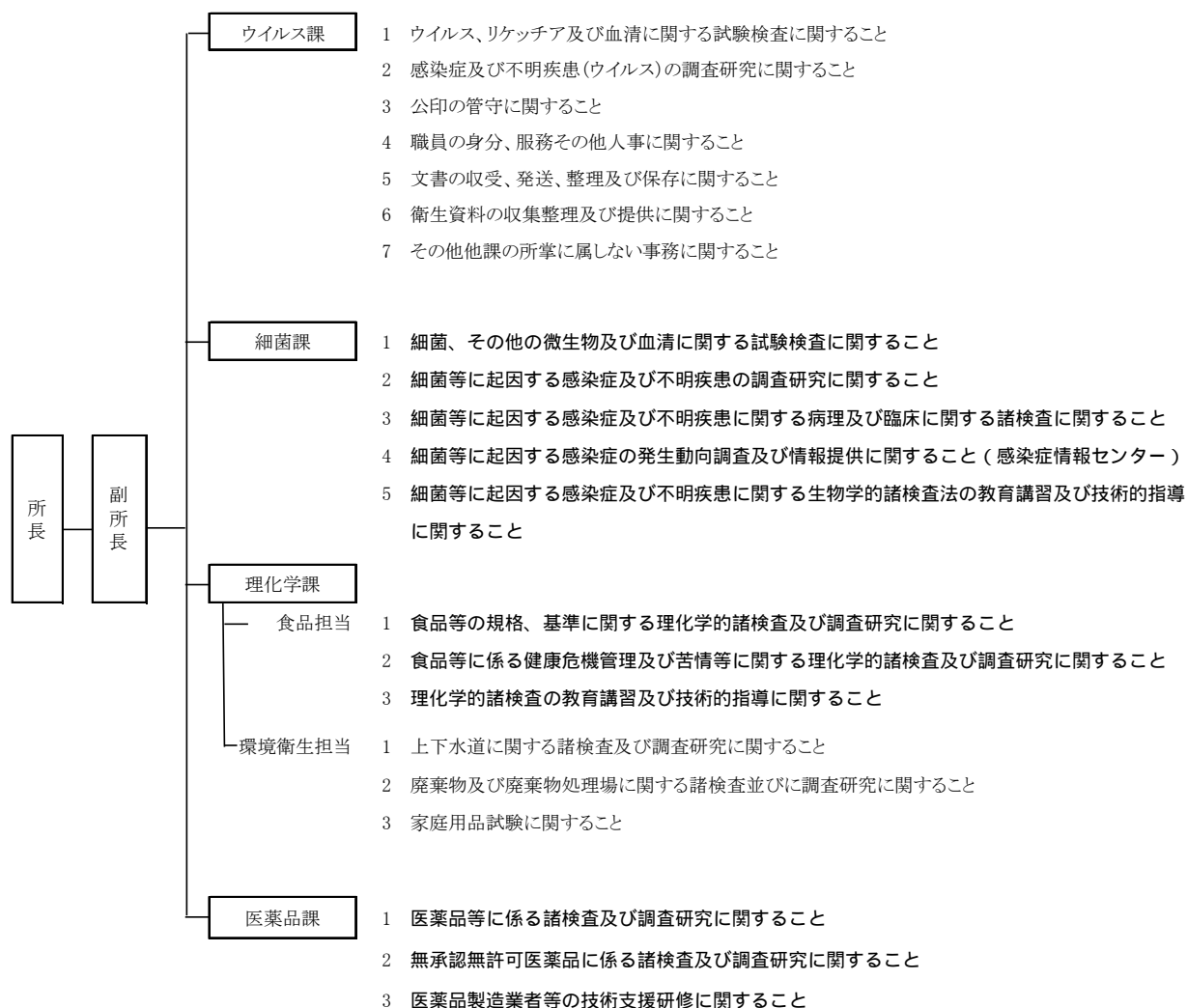
3階、4階 全フロアー

1階 環境試験室 2階 細菌検査室・食品検査室

(1階・2階は、佐賀中部保健福祉事務所と併設)

②動物舎(鉄筋ブロック造) 60.75 m²

3 組織及び業務



4 職員の構成

区分	獣医師	薬剤師	臨床検査技師	理工系	技術員等	計
所長		1				1
副所長		1				1
ウイルス課		1	4		1	6
細菌課	1	1	4		1	7
理化学課	食品担当	4		1※1		5
	環境衛生担当	1	1	1	2	5
医薬品課		3				3
計	1	12	9	2	4	28

※1理化学課長